

1 - 3 北海道地方の地殻変動

Crustal Deformations in the Hokkaido District

国土地理院
Geographical Survey Institute

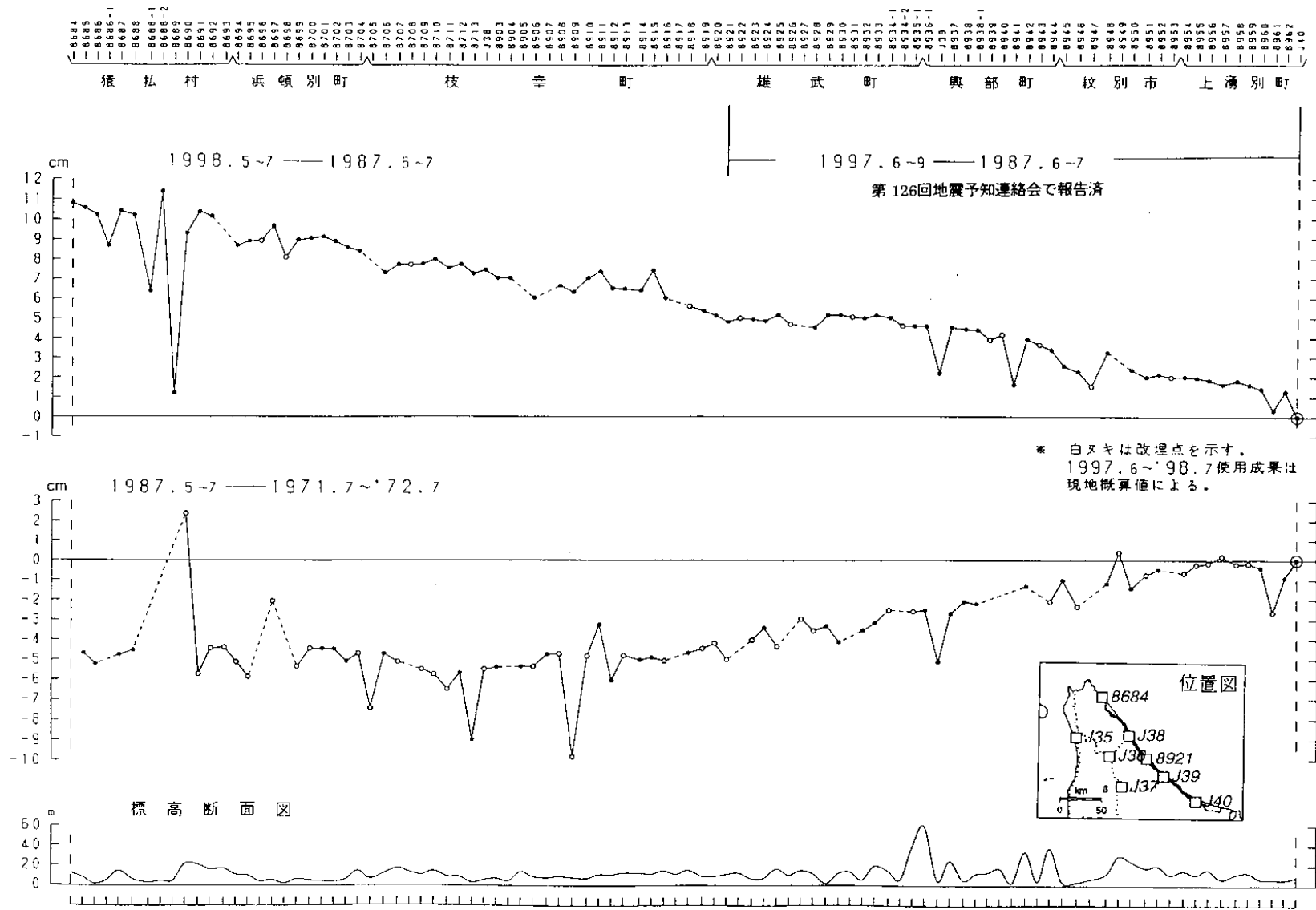
第1図は北海道北東部東岸の水準測量による上下変動である。北海道北端部の猿払町～上湧別町間の水準路線の結果であるが、雄武町から南の結果は第126回の地震予知連絡会で報告している。図は前回測量の1987年の測量結果との比較であり、上湧別を基準として猿払が北上がり傾向で10年間に約10cm隆起したことを示している。前回の比較では、逆に16年間で北が約5cm沈降する結果となっており、今回と逆の変動であった。

第2図は、北海道北西部における水準測量結果である。小樽市から積丹半島付け根を横断して南西に向かう路線であるが、5年前の北海道南西沖地震直後の測量と比較して、南西側が隆起する傾向となっている。全体的な傾向は、地震をはさんだ1993年7月と1986年の比較結果と全体的な傾向は酷似している。ただ、今回のほうが寿都町側の隆起の傾向が強く現れている。

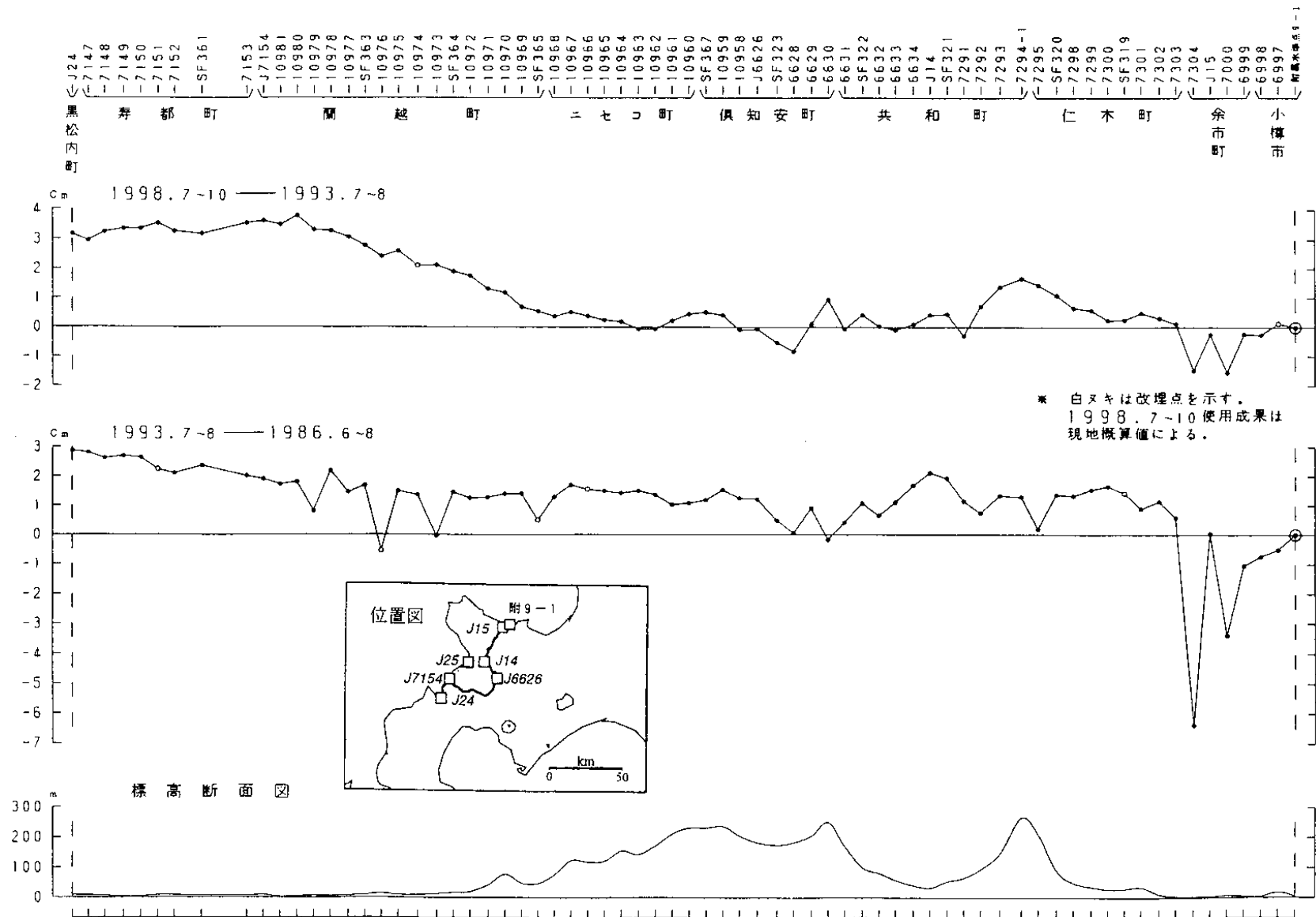
第3図は1993年北海道南西沖地震後に設置された天売島、および奥尻の験潮場とこの地域の既存験潮場である忍露験潮場日平均の潮位差である。天売島がやや隆起傾向に見えるが、特段の変化はない。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院：北海道地方の上下変動，連絡会報，37 (1987)，8-21。
- 2) 国土地理院：北海道地方の地殻変動，連絡会報，39 (1988)，11-20。
- 3) 国土地理院：北海道地方の地殻変動，連絡会報，43 (1990)，9-13。
- 4) 国土地理院：北海道地方の地殻変動，連絡会報，51 (1994)，121-141。
- 5) 国土地理院：北海道地方の地殻変動，連絡会報，52 (1994)，34-44。
- 6) 国土地理院：北海道地方の地殻変動，連絡会報，56 (1996)，27-35。
- 7) 国土地理院：北海道地方の地殻変動，連絡会報，57 (1996)，34-52。
- 8) 国土地理院：北海道地方の地殻変動，連絡会報，59 (1998)，15-22。
- 9) 国土地理院：北海道地方の地殻変動，連絡会報，60 (1998)，38-43。

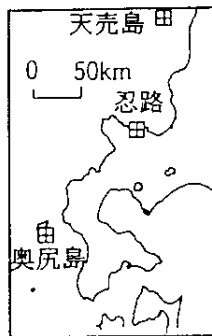
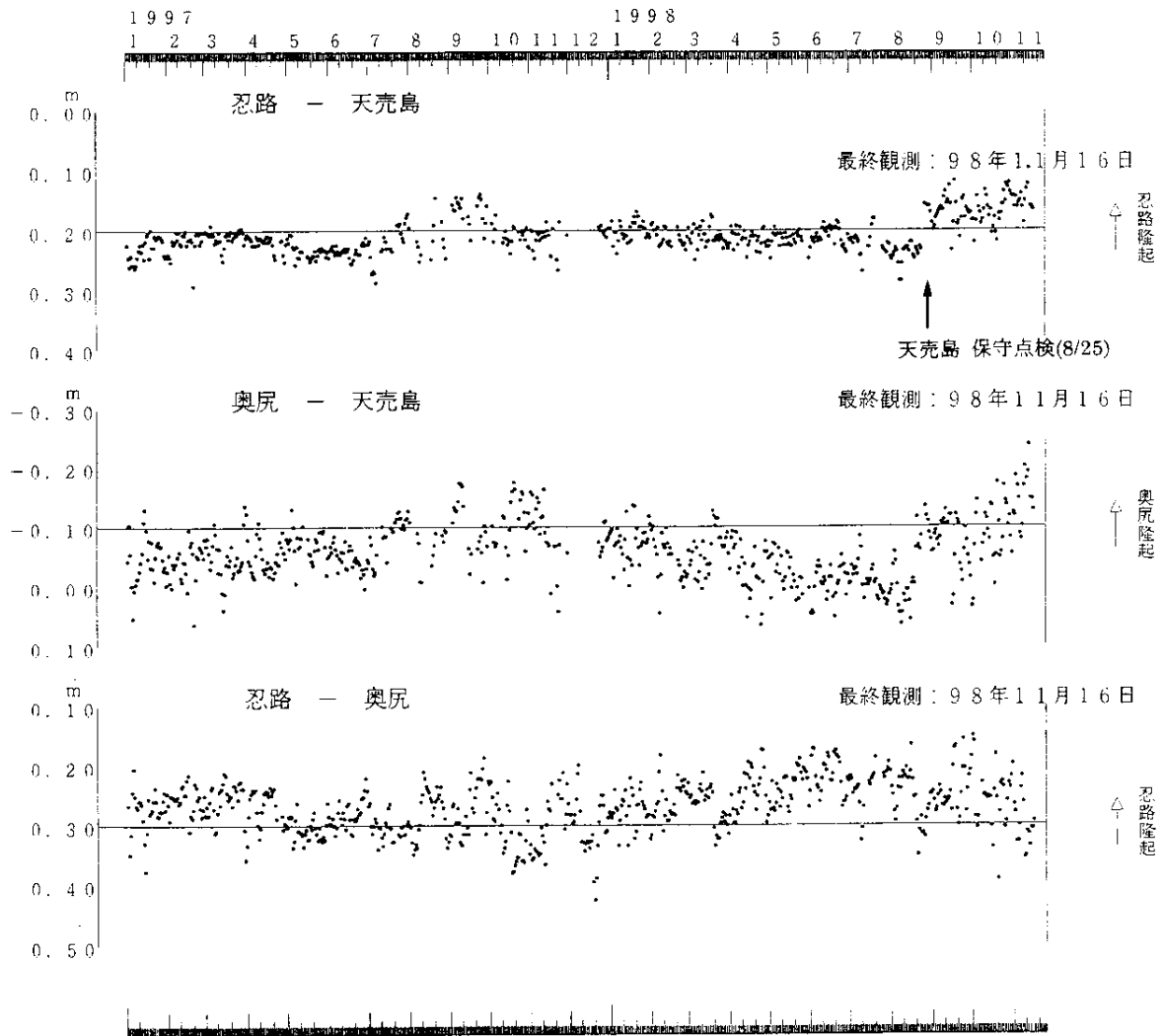


第1図 猿弘町～上湧別間の上下変動
 Fig.1 Vertical movements along the route from Sarufutsu to Kamiyubetsu.



第2図 小樽～寿都間の上下変動

Fig.2 Vertical movements along the route from Otaru to Suttsu.



第3図 忍路・天売島・奥尻各験潮場間の日平均潮位差

Fig.3 Differences between daily mean values of tidal gauge readings at Oshoro, Teuri and Okushiri stations.